



写真提供：警視庁



写真提供：警視庁



写真提供：警視庁

Profile

西中学校出身。警視庁所属。競技を始めてから僅か2年で全日本選手権優勝。2016リオオリンピックの12位、2017年のW杯4位はいずれも日本人歴代最高順位。

近代五種競技の見どころは

1人の選手が1日の間に、フェンシング、水泳、馬術、レーザーラン(射撃、ラン)の5種類の競技で競います。個人競技、対人競技、馬との競技と多岐に渡るので、最初から最後まで誰が勝つか分からないところが面白いところであり、競技者としては一番難しいところでもあります。ぜひ、五種目それぞれの物語に注目してみてください。

狭山はどのような場所ですか

生まれ育った大切な場所であり、帰ると落ち着き安心できる場所です。休日は狭山に帰り、学生時代の友人や家族に会うことで、日々の練習や大会の疲れを癒しています。

今年の抱負

東京2020オリンピックで金メダル獲得。体力的に負担の大きい競技なので、この大会が最後のチャンスだと思っています。悔いが残らないよう、限られた時間を過ごしていきます。

近代五種競技
高宮(旧姓朝長)なつ美さん(28歳)



撮影協力：秋草学園高等学校書道部

夢に向かって羽ばたけ

狭山のアスリート



Profile

柏原中学校出身。順天堂大学在学。2017年に日本ゴールボール代表選手に選出される。『ベルリンカップ2019』3位入賞、『2019アジア・パシフィック選手権』3位入賞

ゴールボールを始めたきっかけは

野球に夢中になっていた中学3年生で視覚障害・レベル病になり、途方に暮れていたときに出会ったのがゴールボールでした。視界と光を遮断する競技用のマスクを付けると、一歩踏み出すのも勇気が必要ほど。しかし、本当にマスクを付けているのかと思うほど激しくプレーをしている人たちを見て「こんなスポーツがあるんだ、自分もできるようにしたい!」という思いが芽生えました。

狭山はどのような場所ですか

家族や友達がいる、落ち着く場所です。住んでいるときは田舎だと思っていましたが、離れてみると意外と色んなお店があり不便がなくて、住みやすいところだなと思いました。

今年の抱負

東京2020パラリンピック代表メンバーに選ばれ、金メダル獲得が目標です。「静寂の格闘技」とも呼ばれるこの競技。パラ競技だから優しいということはありません。代表選考までの期間は自分の人生の中でも、一番成長する期間にしたいと思っています。そして、大会までに自身の足りない部分を補い、世界に通じる選手になりたいです。

ゴールボール
佐野優人さん(19歳)

2020年は、「繁栄の年」といわれる子年です。そして、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催年です。それにちなみ、今月は狭山市ゆかりのアスリートを紹介します。

市長新春メッセージ



昨年名実共に新しい時代へと変わりました。「令和」に受け継ぐ古式ゆかしき伝統行事の数々はわが国の長い歴史と豊かな文化を表し、自然が織り成す神秘的な情景は新時代の到来を祝福しているかのようでした。

また、ラグビーW杯が日本中で大きな話題となりました。桜の戦士・日本代表の活躍は私たちの国が持つ可能性とこれからの課題への解決策を示してくれました。選手の多様性を認め、仲間を信じ、潜在能力を最大限に引き出し、その力を偉大

な目標に向かって、一つに結集することが勝利の鍵でした。

ラグビーは後ろを走る選手というスポーツです。これまで、先人たちが大切に育んでくれた狭山市を次の世代につないでいくことは、変化の激しい時代に、益々、重要となります。皆さんとともに「ONETEAM」となり、次世代にわたっても豊かさを維持することができよう努力してまいります。

さて、本年はいよいよ東京2020オリンピック・パラリンピックが開催され、本市においてもゴルフ競技が行われます。また、7月7日には聖火リレーも通過します。本市の66年の歴史の中で最高の出来事となるよう準備を行ってまいります。

皆さんからは「フレ！フレ！(2020)」と声援を送っていただき、狭山が輝く一年となるよう全力で頑張っております。